



140-0001品川区北品川2-28-19 品川文化交流館3階 TEL03-3471-8610 E-mail:fureai@obachanchi.org http://obachanchi.org/ 発行：2022.07

子育て、子育てにやさしい風をふかせて20年

ふれあいの家-おばちゃんち 代表理事 幾島博子

おばちゃんちは今年で20歳になります。おばちゃんちが5歳になる頃、丹羽洋子さんが「100人のおばちゃん、品川に見つけ！」(ひとなる書房)という本を書いてくださいました。前代表理事 渡辺美恵子(通称:みこちゃん)はじめ50人近くに及ぶおばちゃんちの創世記に関わった人々を丁寧に取材して書かれた本で、ドキュメントでありながら、サブタイトルでもある「みんなで子育てまちづくり」の一端を感じ、考えて行動したくなるような一冊です。

10歳になる時には、「ホッとひといきあしたのまちへ」という30分の動画を作成しました。おばちゃんちの活動の様子と、立ち上げ当初からおばちゃんちが大事にしてきたことの、みこちゃんの語りで構成されています。今は直接聞くことのできないみこちゃんの言葉はどれも重みがあり、おばちゃんちの原点を忘れないようにしてくれる大切な作品です。

みこちゃんは、「やさしい風を吹かせる人が10人いれば、そうでない人も巻き込まれていくでしょ?」と語っています。「やさしい風を吹かせるおばちゃん、おじちゃん」は、我が子ではない子にも心を寄せ、育つ姿を見て喜び、自分のできごとで子育てのちょっとしたお手伝いをしていま

す。するとお母さん、お父さんは少しだけでも肩の荷を下ろすことができ、次の「やさしい風を吹かせるおばちゃん、おじちゃん」になってくれればと思うのです。おばちゃんちは様々な活動を通して、そんなおばちゃん、おじちゃんを増やしたり、つながりしてきました。また大小様々なグループや団体、助け合う仕組みや居場所ができていくことにも一役買ひ、互いに手を取りあって子育てにやさしい風を吹かせるまちづくりをすすめてきました。

20歳になる節目の今年、今までの活動を振り返りながら、その原点について、これからのことをみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。子育て、子育てにやさしい風を吹かせるのはあなた!100人、1000人と問わずに誰もがそんな人でいられるまちを皆さんと一緒に作っていきましょう。

「100人のおばちゃん、品川に見つけ!」をお読みになりたい方、「ホッとひといきあしたのまちへ」をご覧になりたい方、8頁をご覧ください

12月4日(日)「20周年記念事業」開催予定

会員情報

(5月末日現在)

正会員	42名
支援会員	78名
賛助会員	6名
計	126名

ご寄付ありがとうございました

イオンリテール株式会社様、金崎久一様、鈴木美紀子様、坂口雅子様、山田巴様、和久井良一様、ほか匿名10名

年会費・ご寄付は

郵便振替 00120-3-583720

クレジットカード・コンビニ・キャリア決済はSTORES(ネットショップ)から>



©Yoko Takahashi

目次



140-0001品川区北品川2-28-19 品川審交流館3階 TEL03-3471-8610 E-mail:fureai@obachanchi.org http://obachanchi.org/ 発行：2022.07

子育て、子育てにやさしい風をふかせて20年

ふれあいの家—おばちゃんち 代表理事 幾島博子

おばちゃんちは今年で20歳になります。おばちゃんちが5歳になる頃、丹羽洋子さんが「100人のおばちゃん、品川に見つけ！」(ひとなる書房)という本を書いてくださいました。前代表理事 渡辺美恵子(通称:みこちゃん)はじめ50人近くに及ぶおばちゃんちの創世記に関わった人たちが丁寧に取材して書かれた本で、ドキュメントでありながら、サブタイトルでもある「みんなで子育てまちづくり」の一端を感じ、考えて行動したくなるような一冊です。

10歳になる時には、「ホッとひといきあしたのまちへ」という30分の動画を作成しました。おばちゃんちの活動の様子と、立ち上げ当初からおばちゃんちが大事にしてきたこと、みこちゃんの語りで構成されています。今は直接聞くことのできないみこちゃん言葉はどれも重みがあり、おばちゃんちの原点を忘れないようにしてくれる大切な作品です。

みこちゃんは、「やさしい風を吹かせる人が10人いれば、そうでない人も巻き込まれていくでしょ?」と語っています。「やさしい風を吹かせるおばちゃん、おじちゃん」は、我が子ではない子にも心を寄せ、育つ姿を見て喜び、自分のできごとで子育てのちよとしたお手伝いをしていま

す。するとお母さん、お父さんは少しだけでも肩の荷を下ろすことができ、次の「やさしい風を吹かせるおばちゃん、おじちゃん」になってくれればと思うのです。おばちゃんちは様々な活動を通して、そんなおばちゃん、おじちゃんを増やしたり、つながったりしてきました。また大小様々なグループや団体、助け合う仕組みや居場所ができていくことにも一役買い、互いに手を取りあって子育てにやさしい風を吹かせるまちづくりをすすめてきました。

20歳になる節目の今年、今までの活動を振り返りながら、その原点についてと、これからのことをみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。子育て、子育てにやさしい風を吹かせるのはあなた! 100人、1000人と言わずに誰もがそんな人でいられるまちを皆さんと一緒に作っていきたいです。

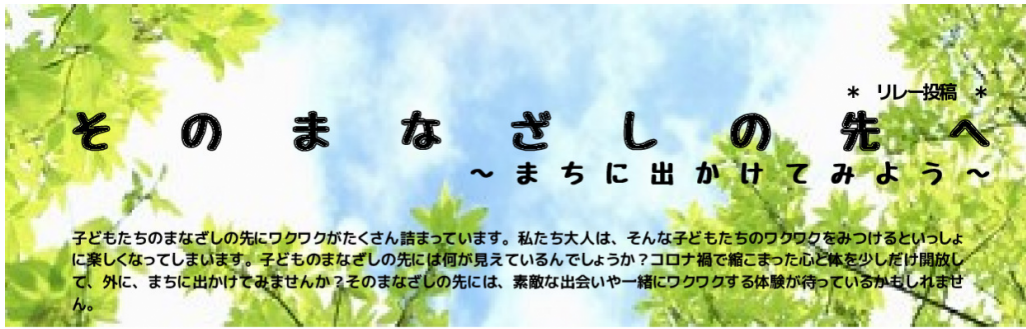
「100人のおばちゃん、品川に見つけ!」をお読みになりたい方、「ホッとひといきあしたのまちへ」をご覧になりたい方、8頁をご覧ください

12月4日(日)「20周年記念事業」開催予定

会員情報 (5月末日現在)		ご寄付ありがとうございました	
正会員	42名	イオンリテール株式会社様、金崎久一様、鈴木美紀子様	QRコード
支援会員	78名	坂口雅子様、山田巴様、和久井良一様	
賛助会員	6名	ほか匿名10名	STORES
計	126名	年会費・ご寄付は 郵便振替 00120-3-583720 クレジットカード・コンビニ・キャリア決済はSTORES(ネットショップ)から>	



©Yoko Takahashi



* リレー投稿 *

そのまなざしの先へ ～まちに出かけてみよう～

子どもたちのまなざしの先にワクワクがたくさん詰まっています。私たち大人は、そんな子どもたちのワクワクをみつけるといっしょに楽しくなってしまいます。子どもたちのまなざしには何が見えているのでしょうか？コロナ禍で縮こまった心と体を少しだけ開放して、外に、まちに出かけてみませんか？そのまなざしの先には、素敵な出会いや一緒にワクワクする体験が待っているかもしれません。

ある日の冒険ひろばで



「しながわこども冒険ひろば」の泥場では、たいていいつも誰かがドロンコになってあそんでいます。子どもが「たき火をしたい」と言えば、その日の状況に合わせて「こどもたき火」をします。アリ、ダンゴムシ、カエル、カナヘビ、キノコ、ミミズ、・・・活発になった生きものたちと子どもたちが会うこともあります。

ある日、アリの巣をつついてきた子どもたちの横で、泥場から来た別の子どもが作った泥だんごが落ち、「べちゃっ」と、つぶれました。誰かが、「まんじゅうだ！」と、叫び、そこから、たき火で焼こうという話になり、自分たちで火を起こし、泥だんご・まんじゅう屋が始まりました。同じ年頃の、その日初めて会う子どもたちが少しずつ増えていき、だんご、まんじゅう、ピザ…たくさんの泥料理が焼かれ皿に並べられました。お店の看板やメニューもいつの間にか書かれ「店長」を名乗る子も続出…。子ども店長だらけのお店になっていました。その後片付ける段になって、どうするのかと聞

くと、10歳前後の子ども達7～8人は、「食べる！」と言って、「モグモグモグ」と言いながら食べ始めたのです！（本当に食べてはけません）泥料理全てはあっという間になくなりました。子どもたちがつくる世界は、思いもよらぬことが多く、その、ゆたかな世界に学ぶことは多いです。そして、そんな子どもたちの自由を大切にしたいとおもう大人たちが、子どものちよつと後ろから見守ったり、いっしょにあそんだり、何かの作業をしたり、世間話をしたりしています。そんな風に、いっしょに冒険ひろばをつくっているの、みなさんもあそびにきて子どもたちの世界を感じてみませんか。

(ゆきちゃん@しな冒)



▲だんご屋の看板



▲次々焼かれる泥料理



▲いただきます！モグモグ…



▲からっぽ！ごちそうさま？！

▼おたまじゃくしがカエルになり、旅立ちの直前



▲今年初めて子どもにつかまってしまったカナヘビ



近所の小学生たちとの交流

「おばちゃん。折り紙ちょうだい！」昭和通りおばちゃんちでは3時過ぎになるとぎやかな小学生の声が聞こえてきます。西中延にある昭和通りおばちゃんちの近くには小学校があります。窓をコンコンとたたいて小学生が「今日は小さな子たちいる〜？」と話しかけてくれます。以前おばちゃんちに預かりで来ていた小学生もいて、コロナ前は赤ちゃん和小学生の交流の場になっていました。コロナ禍の今は小学生が来てくれた時は、置いてある折り紙を渡します。「何か作ったら見せてね〜」子どもたちはいろいろなものを作って持ってきてくれます。折り紙を窓に貼って展示するとみんなとても喜んでくれます。

▲入口のドアにセタ飾り

昭和通り商店街には『しょうちゃん』というゆるキャラがいます。おばちゃんちの前にもモニュメントが置いて



◀折り紙もらって何作ろう？

あるのですが、ある日、雨で汚れていたしょうちゃんをふいてあげたら隣に住んでいるおばあちゃんが「あら、キレイになって！しょうちゃんが喜んでるわね。ありがとう」とお礼を言ってくれました。



▲昭和通りのしょうちゃん

そんなしょうちゃん。小学生の子どもたちにしょうちゃんは何者だと思おう？とアンケートを取ってみました。熊、ねずみ、古代人、未来からやってきた犬、タイムマシンで過去から未来に行こうとして間違ってきた変な生き物…。なかには物語を作って話をしてくれる子もいます。

子どものまなざしの先にはワクワクが詰まっています。そして、おばちゃんたちはそんな子どもたちに元気をもたらしています。(たぞえん)



近くの小学校の運動会前におばちゃんちが作った「応援ガエル」。このカエルをもらった子どもたちから「ダンスの時難しいステップいつも間違えてたけど、当日は上手にできたよ。応援ガエルが応援してくれたから」「応援ガエルのおかげで徒競走2番になったよ!」とうれしい報告がありました。

子どもたちの笑顔が見たい

2011年にスタートした「にじっこコンサート」は2020年11月開催予定でしたがコロナで中止になってしまいました。何もできずにいましたが今このコロナ禍でこそ私たちに出来る事で子どもたち大人たち皆で楽しみたいという想いで長年人形劇と関わってきた仲間と共に人形劇・手遊び・わらべ歌「にじっこ一座」を立ち上げました。

5月にご縁のあるおばちゃんち親子ひろば八潮「にじっこ」で「にじっこ一座」のはじめの一歩がスタートしました。ハラハラドキドキの初めての公演でしたが

子どもたちの笑顔とお母さん方の感想(親子で楽しめてうれしかった・人形劇とか親子で生で見る事とかなないから楽しかった・緩い感じが居心地がよくて楽しめた...)をお聞きして「やってよかった、楽しかった」と思いました。これからも皆さんの力をお借りしつつ、無理なく楽しく続けて、子どもたちの素敵な笑顔に会いに行きたいと思っています。(いわちゃん)



ここでは安心して子どもに声をかけられますよ

自分で火をおこし、たき火をします。たき火をすればお湯を沸かしたくなります。そしてそのお湯でお茶を入れ、公園に来ている人たちに「いかがですか」と持って歩く。それは楽しい風景です。「ありがとう」の音が響きあいます。

ある日のこと、お茶が入ったので、遠くから遊びに来ていた6年生女子に「お茶飲まない?」と声をかけました。すると彼女は急ぎ足で仲間のところへ戻って行きました。こそこそと話しているので何事かと思っていると、突然の大爆笑。よく北浜に来ているMさんが笑って報告に来ました。どうやら私はナンパしていると思われたようです。(笑)

まちで子どもに勝手に話しかけると、不審者がられる。落し物を渡そうとしたら、逃げられてしまう。微笑むと気味悪がられる。そんなまちにいつからなってしまうのでしょうか。



北浜こども冒険ひろばのベンチには、散歩途中のおじいちゃん、おばあちゃんたちがいつもたくさん

座っています。たまにたまそばにいたおじいちゃんが子どもたちの大縄の縄を回してくれていたり、通りかかったおじさんがオセロの相手をしてく



れたり、そんな昔のままの風景が広がっているのです。「ここでは安心して、子どもに声をかけられますよ」ベンチに座っていたおじさんが言いました。ここにはまちの幸せの風景があります。大切にしたいと思います。

北浜コラム NO.32 より

これは10年ほど前の北浜だよりのコラムから再掲しました。北浜こども冒険ひろばが、ご近所の様々な方の幸せの場所になっていることに気付かされたのは、ベンチに座っていたおじいちゃんの言葉でした。

コロナ禍では人に声をかけるのも難しくなってしまう。しかし、公園は子どもだけの場所ではありません。おともどももみんな楽しんでから「まちの幸せの風景」を作っていきたいと思っています。(みやさん)

身近にいるよ。あなたとみんなの応援団!

子育ての情報を顔を合わせて受け取ることが難しかったここ数年…。イベントも中止になることが多かったのですが、「品川子育てメッセはどうしても開催したい!」そう思った時に、真っ先に応援してくれたのは日頃からつながりのある子育て支援団体の方たちでした。試行錯誤のなか子育てメッセをオンラインで開催した際、多くの子育て支援団体の方々が参加してくださり、『地域のあったかスポット情報』としてカメラの前でお母さんたちにメッセージを伝える姿からは「みんなのこと待ってるからね!」というあったかい気持ちがあふれてました。

私も子どもが生まれて、「地域」と呼ばれる場所で過ごす時間が増えたことで、まちの中でこんなにたくさんの人が誰かのために動いていることを知りました。子どもと一緒に過ごす生活の中で、ちょっと手を貸してくださる方たちとの出会いもたくさんありました。そんな方たちが様々な形で団体をつくって活動されていたり、地域の仲間として応援してる姿をたくさん見たり聞いたり体験してきました。

ここ数年は活動休止を余儀なくされているところもありますが、コロナ禍でも何かできることは無いだろうか…と模索し続けています。おやこ広場も開いている時間が延びてきたり工夫しながら楽しめることを考えたり…何より今ここに来ている親子の声に、姿に耳と目を傾けて温かく受け止めてくれます。たくさんの親子に「あなたたちを応援したいと思ってる人たちが身近にたくさんいますよ!」と伝えていきたいです。(よっしー)



第15回 つたえあつなげあゆめくあうー子どもといっしょに広がる世界

品川子育てメッセ2022

2022年10月28日(金) スクエア荏原にて開催予定

見守られて育つ場所



品川に引っ越ししてきたのは、息子が1歳のとき。引っ越して来た頃は知り合いもおらず、育児

でも不安でいっぱいでした。そんな時に出会ったのが“しながわこども冒険ひろば”でした。通う中で少しずつ友達が増え、育児の悩みに泣いたり笑ったり。ひろばにいると一日があつという間に過ぎていきました。

いつものように遊んでいたある日、息子が小学生と喧嘩になりました。茂みの奥にいつの間にか出来ていた秘密基地。基地で鉢合わせて、各々が「オレの場所だ！」と主張し喧嘩になった模様。幼稚園の息子は口でも力でも勝ち目なし。それでも飛び掛かっていったようで涙目で下を向いて怒りに震えています。その



状況を周りにいたママ達が私に知らせてくれたのですが、普段温厚な息子の豹変ぶりに驚き、みんなとても心配してくれました。その時、私は思いました。い

つの間にこんなに温かな場所に来たのだろう。息子を心配し見守ってくれる人がたくさんいる。ここに来た時はあんなに不安で孤独だったのに。

一歳だった息子は一年生になり、冒険ひろばに出掛けて行く後ろ姿を見送るようになりました。私が不安なく送り出せるのは、息子を見守ってくれる人がたくさんいるから。これからこの場所

で、のびのび元気に育って欲しいです。

(さえちゃん)



まなびあいの場

子育てサポーター養成講座
開講中!

「ふえん、ヤダー!!」ときどきそんな子どもの声が聞こえてきますよね。「あらあらかわいい〜。」「どうしたのかしら大変ね…。」「うるさいなあ」色々な人がいると思います。困っているお母さんを助けてあげたいけど、どうしよう。声をかけるのはとても勇気がいる。

子育てが“孤育て”と言われるようになり悩みを一人で抱えているお母さんがとても増えています。外出するのも周りの目が気になってしんどい。ちょっと話をしたい。聞いて欲しい。気軽に声をかけあえるそんなあたたかいまちを作りたい。やさしい“おせっかい”をするおばちゃん、おじちゃんを増やしたい。それがこの講座の始まりです。

今年で16期。今までに300人以上のおばちゃんおじちゃんが誕生しました。もっともっと仲間が増えて、あたたかいやさしいまなざしにあふれたまちになったらいいなと思っています。

ふれあいの家-おばちゃんちニュースレターvol.44

5

2022年度 子育てサポーター養成講座

ひとりの子育てから
みんなの子育てへ
～子育てしやすいまちづくり～

支援者向け
公開講座

講師：森田圭子氏

(NPO法人わこう子育てネットワーク代表理事/NPO法人ホームスタート・ジャパン代表理事)

日時：2022年9月22日(木)

10:00~12:00

会場：中小企業センター

参加費：500円 定員：20名

申込：fureai@obachanchi.org



しながわの子育てガイドを知っていますか？

「いきいきあんしん子育てガイド」は、品川区と、品川SKIP編集委員会主催の講座に参加したママたちが協働して、「品川で、生き生きと安心して子育てしてほしい」と願って作られました。

妊娠、出産、子育てに関わるたくさんの情報を、さらに分かりやすく届けられるよう、体験談やアドバイスを盛り込み、何よりも当事者の視点を大切に制作しました。

いきいきあんしん子育てガイド



子育てガイド別冊 あかちゃんからたのしもう 子育てひろば

私たちの街しながわには、子育てに頑張るパパ・ママを応援したい、子どもたちの成長を共に支えたいという思いで活動している人、グループなどさまざまあります。

子育てに喜びと共に大変さはつきもの。子育てひろばには、そんな気持ちに寄り添うあたたかい思いが詰まっています。

そんな"子育てひろば"のことを、たくさんの人に知ってほしいと願いを込め、このガイドを作成しました。

この冊子はまだ新しく生まれたばかり。これから皆さんと一緒に、さらにメッセージを届けられる内容へ育てていきたいと思います。

皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

SKIPとは？

品川SKIP編集委員会とは、現役ママ目線の子育て情報誌「しながわ子育てガイドSKIP」作成を目的に集まった自主グループ。0～3号まで発行した後、区と協働にて「いきいきあんしん子育てガイド」へ編集協力を開始。現在は、ガイド編集に加え、子育て交流サロン「すきっぷひろば」の運営や、座談会の開催を行っています。ぜひ、遊びにいらしてください♪



行政・民間のグループの紹介もされています。ぜひ、ご活用下さい♪

荏原 平塚橋 すきっぷひろば

親子の交流と相談を目的に区が開設し、品川SKIP編集委員会が運営。子どもを遊ばせながら、おしゃべりから広がるつながりの輪を大切にしています。私たちらしく？ゆるい雰囲気ひろばです(笑)

【荏原すきっぷひろば】
@荏原区民センター (荏原5-6-5)
月曜日 10:30～14:30

【平塚橋すきっぷひろば】
@平塚橋ゆうゆうプラザ
(西中延1-2-8)
木曜日 10:30～14:30



品川SKIP編集委員会ブログ
「すきっぷひろば」で検索
<http://blog.canpan.info/shinagawa-skip/>



おばちゃんち 活動予定

おばちゃんちからのお知らせは、twitterやfacebookでもチェック！



ふれあいの場

みこちゃんち

*開催日：毎週月曜日
(祝日は休みます)
*参加費：1家族100円

*会場：品川宿おばちゃんち
(品川区北品川2-19-6)
*時間：10時から12時と13時から15時

しょうちゃんち

*会場：昭和通りおばちゃんち
(品川区西中延2-18-1)
*時間：13時から15時

しながわこども冒険ひろば

*開催日：月火水土日
(木・金休、祝日は開園します)
*時間：10時半から17時半
*会場：しながわ区民公園・しながわこども冒険ひろば
(品川区勝島3-2-2)
*参加費：無料

乳幼児親子ひろば そとぼ〜よ!

*毎週火曜日 10時半から14時
子どもたちに思いっきり外あそびを楽しんでほしい！0歳からの初めての外あそびをサポートします！

北浜こども冒険ひろば

*開催日：月火水木金土
(日・祝休)
*時間：14時から18時
※第1・3水曜日は11時開園
*会場：北浜公園・北浜こども冒険ひろば
(品川区北品川2-28)
*参加費：無料

お外であそぼう!

*第1・3水曜日 11時から14時
よちよち、とことこ。お外で遊ぶ。赤ちゃんスペースや積み木、絵本など、乳幼児の親子が遊びやすい工夫をしています。はじめての方も気軽にきてみてくださいね。

ほっと・サロン@八潮 にじっこ

*開催日：祝日を除く毎週木曜日
*時間：13時半から15時半
*会場：こみゆていびざらざ八潮1F 託児室 (品川区八潮5-9-11)
*参加費：1家族100円 (初回無料)

お部屋でも庭でも遊べます

ホットほっとHOT 出張おもちゃ広場

*開催日：7月3日(日)会場：ほっぺ
8月7日(日)会場：わっこ
*時間：10時半から12時半
*参加費：1家族100円
※詳しく開催日は、HPをご覧ください



サポート者派遣保育 **えくぼ** 自主サークルや団体が講座や講演会などを行っている間のグループ保育に、おばちゃんちの認定保育サポート者を派遣します。活動の主旨などによりご利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい

「品川宿おばちゃんち」
ほっぺ tel.03-5463-6458
品川区北品川2-19-6

「昭和通りおばちゃんち」
わっこ tel.03-5749-3212
品川区西中延2-18-1

月曜から土曜までの、9時から17時まで(土曜は予約状況で変更することがあります)、おばちゃんち年会費2500円で両方の施設をご利用いただけます。
4時間までの基本保育料は品川区在住在勤の方は1時間500円、4時間を超える延長保育は1時間600円になります
※区外の方はご利用条件が異なります。詳しくはそれぞれ上記電話番号へお問い合わせ下さい

書籍と10周年記念DVD 販売中

☆書籍 「100人のおばちゃん見へつけ -みんなで子育てまちづくり-」
丹羽洋子【著】ひなる書房 定価1500円
☆DVD 「ホッとひとときあしたのまちへ」 定価500円

ご注文はおばちゃんち事務局へ
TEL.03-3471-8610

このニュースレターはユニバーサルデザインフォントMigu1Cを使用しています

NL44 \ \

ふれあいの家—おばちゃんち ニュースレターvol.44

著 obachanchi

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
